

会社沿革

1

年次		概要
2007年	10月	北海道北広島市大曲にて会社設立
2008年	4月	工事系社員5名入社 本格的に事業開始
2009年	4月	工事系社員5名入社
	6月	法面吹付機AG300Ⅲ新規導入、法面保護工事に本格着手
2010年	4月	技術系社員2名入社
	5月	橋梁補修工事に本格的に着手
	6月	補修工事関連施工機材の拡充
2011年	4月	技術系社員3名、工事系社員8名入社
	5月	法面抑止工、地すべり対策工に本格着手
2012年	4月	技術系社員2名、工事系社員5名入社
	5月	高エネルギー吸収柵(斜面タイプ)工事に着手
	6月	70tクローラクレーン7070導入
2013年	4月	技術系社員2名、工事系社員4名入社
	4月	受注活動、工事管理の組織的管理に着手
	5月	法面保護機材の拡充導入
	6月	岩塊破碎除去掘削、斜面崩落対策工事に着手
2014年	1月	東日本大震災、災害復旧に参画、海岸、河川等災害復旧工事を施工
	4月	技術系社員1名入社、工事系社員8名入社
	5月	バックホウSK235SR新規導入
	6月	ダウンザホールハンマ等基礎工事機械類新規導入
	6月	工事用モノレール等付帯仮設用機材の導入
	7月	高エネルギー吸収柵(鉛直支柱タイプ)工事に着手
	8月	90tクローラクレーン7090G導入
	12月	50tラフタークレーンGR500N導入
2015年	4月	工事系社員7名入社
	4月	経営コンサルタント導入による経営改善、組織化運用に着手
	8月	90tクローラクレーン7090G2導入
	9月	バックホウ、ブルドーザー等土工機械導入
	10月	200tクローラクレーン7200G導入
2016年	2月	資本金を3000万円に増額
	4月	本社管理体制、工事管理体制の組織的運用、改善活動に着手
	5月	幹部役社員による担い手社員の育成活動に着手
	4月	省エネ・排出ガス対策型建設機械、基礎工事機械の拡充導入
	5月	ロータリーパーカッションドリル各種新規導入
	6月	省力化急傾斜地掘削機械導入

会社沿革

年次	概要	
2017 年	5 月	ダウンザホールハンマ等基礎工事機機械の拡充導入
	5 月	日勝峠台風災害、災害復旧工事に参画
	7 月	ケーシング連行型ダウンザホールハンマ導入
2018 年	4 月	技術系社員1名、工事系社員3名入社
	12 月	長尺(35m)ダウンザホールハンマ削孔抑止杭工事を施工
2019 年	4 月	胆振東部地震、災害復旧工事に参画
	4 月	営業、技術部門を本社事業部に再編しワンストップ管理体制を強化
	5 月	省エネ・排出ガス対策型建設機械の拡充導入
	7 月	ケーシング連行型ダウンザホールハンマ、ベースマシンの拡充導入
	8 月	耐水圧グラウンドアンカーの施工に着手
2019 年	8 月	大型ロータリーパーカッションドリルRPD160C導入
	9 月	現住所、厚別区テクノパークに本社事務所を購入し移転
	9 月	創業の地、北広島大曲は機材センター、事業所として継続運用
2020 年	1 月	80tラフタークレーンSL800導入
	5 月	機材センター敷地内に機材倉庫を建設
	8 月	小型ロータリーパーカッションドリルRPD30LK導入
2021 年	3 月	札幌北野社員寮購入
	3 月	埋設型伸縮装置MMJ工法に着手、専用施工機材導入
	4 月	技術系社員1名、工事系社員6名入社
	4 月	仮設資材、付帯機材の拡充導入による施工レスポンスの強化
	5 月	基礎工事機械保管庫建設、機材保管ヤードの建設整備
	6 月	大口径ダウンザホールハンマ機材の導入
	7 月	財務担当役員の外部登用による財務基盤強化活動に着手
	7 月	リーダー付25t級クローラー式基礎掘削機導入
	8 月	札幌平岡社員寮購入
11 月	中型ロータリーパーカッションドリルRPD45H2新規導入	